

あどぼ(アドボカシー)の学校 ～環境政策提言力向上から環境政策実現力へ～

〒503-2124
岐阜県不破郡垂井町宮代1794-1
電話:0584-23-3010
E-mail:info@sento-tarui.org
http://sento-tarui.blogspot.jp/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



公害対策の現場を地域の方と見ている様子

あどぼの学校ぎふ受講者数

57人

プラットフォーム設立準備会参加数

28人

今年度計画の達成度

100%

活動の全体目標に対する達成度

90%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

地域の規模、取り組む団体や人によりアドボカシーの活用方法が異なる。それらをひもとき分析するための事業化、作業に苦労した。

■ 工夫した点

「あどぼの双六」を開発した際に、単なる普及啓発のみのツールではなく、人材育成、課題解決のロードマップツールともなるよう工夫して取り組んだ。

課題

環境政策等の住民主体・住民参加・協働による立案を行える人材創出、ならびに分野を超えた先進的な事例や成果の相互共有・公開、そしてそれらを基盤とした次世代人材の育成。

目標

あどぼの学校参加者が次世代スタッフとして活動する、他地域との経験の共有が活発化する、大学との協働、あどぼの学校で教材開発、学校での採用、ネットワークの形成。

活動内容と成果

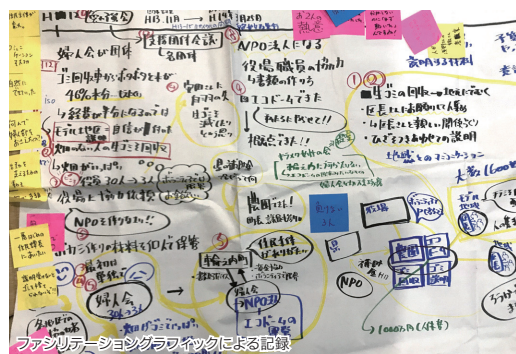
「あどぼの学校ぎふ」講座を岐阜県内4地域にて全4回実施した。他分野の経験の共有が行われた。大学との連携として、同志社大学プロジェクト科目に継続して採択され学生へのアドボカシー普及啓発に努めた。また昨年度の履修生により学生ネットワーク組織が立ち上がった。さらにアドボカシー教材として「あどぼの双六」を開発した。そして次年度以降アドボカシーの全国プラットフォーム組織の設立に向け、他団体、他セクターの参加による基盤整備を行った。



地域の方から協働について学んでいる様子

全助成期間の活動を振り返って

講師としてお話し頂いた団体の方は講座での登壇をきっかけにアドボカシーの勉強会を開催するにいたり、分野を超えたノウハウ・知見を共有したことでNGOと省庁と意見交換の場を設けるにいたり、草の根レベルではあどぼの学校受講者が自身の課題解決・アドボカシー活動に成功するにいたるなど、あどぼの学校実施により社会にさまざまな影響を与え、事業成果を創出することができたと感じている。



今後の展望

今後は3年間培ってきたあどぼの学校のノウハウをさらに分析・一般化し、各地域で活用することを目的としたアドボカシー・ローカルモデルの創出事業へとフェーズを移して取り組んでいく。またそれに合わせて全国の団体と協働することでアドボカシーの情報集積・発信・研究等を行うアドボカシー・プラットフォームの設立に向け取り組んでいく。